

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：山口 晴美

研究分野	研究内容のキーワード
基礎看護学	QOL リラクゼーション 看護技術 看護教育
学位	最終学歴
修士（保健学）	大阪大学医学部保健学科看護学専攻 卒業 大阪大学医学系研究科保健学専攻博士前期課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 学生委員として新入学生の体育祭への参加の支援	2015年4月2017年3月	新入学生のうち健康面に不安を抱える学生に対して面談を行いフォローを実施  実習病院先との調整や実習説明会の開催、健康問題を抱える学生との面談や各教員への周知といった実習運営を主担当として担い、学生の指導や成績の判定に加え非常勤の補助教員への指導やインシデント発生時の対応等を行う。  学生委員として学生生活が円滑となるよう適宜実施する学生ガイダンスや、学生生活に関するアンケートの作成・実施・集計・分析を担当し、学生生活の支援活動を行う。  主に生理学演習、解剖学見学実習、成人看護学演習を担当し、演習の補助や学生の指導を行う。
2. 基礎看護学分野の助教として、新入学生への健康面でのフォロー	2014年4月2015年3月	
3. 実習病院責任教員として基礎看護学実習ⅠⅡを担当する	2014年4月2015年3月	
4. 学生委員として学生生活への支援	2014年4月2015年3月	
5. 大阪大学医学部保健学科にてティーチングアシスタントとして勤務	2009年4月2011年3月	
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 養護教諭専修免許	2011年3月31日	
2. 看護師免許	2009年4月13日	
3. 保健師免許	2009年4月13日	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
1. 膝切除術後のquality of life(QOL)の検討	単	2011年3月		
<b>3 学術論文</b>				
1. Experiences of Nurses in the Process of Determining a Nursing Diagnosis and Needs for Applying a Nursing Diagnosis: Fostering Understanding to Support the Use of Nursing Diagnoses in Clinical Practice	共	2017年3月	Journal of Comprehensive Nursing Research and Care	
<b>その他</b>				
1. 学会ゲストスピーカー				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
1. 看護診断決定に関連した看護師の思考・行動・感情傾向と課題意識に対する改善策の検討	共	2016年8月	日本看護研究学会第42回学術集会	
2. 看護診断事例検討会における診断候補と疑問点の傾向に基づく看護診断研修における教育的サポートのあり方の検討	共	2015年8月	日本看護研究学会第41回学術集会	
3. 看護診断決定に関連した看護師の経験内容や課題意識に基づくサポート体制の検討	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	
4. 膵切除術後のquality of life(QOL)の検討	共	2010年7月	第65回日本消化器外科学会総会	
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 全身浴との比較による手浴が心身へ及ぼすリラクセーション作用の検証	単	2016年4月		科学研究費補助金（若手B） 代表研究者
2. 看護過程・看護診断過程に関連するメディア・内容・送り手分析に基づく看護教育の検討	共	2015年	科学研究費補助金（基盤研究C）	

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年4月	日本看護研究学会第31回近畿・北陸地方会学術集会 実行委員
2. 2016年7月	看護診断学会
3. 2016年6月	人間工学学会
4. 2016年10月	日本人間工学看護人間工学部会
5. 2015年6月	日本看護科学学会
6. 2015年3月	日本健康医学学会
7. 2014年	日本看護研究学会
8. 2014年	日本看護技術学会